

パラアフリーペンション
まついだ
森の家通信

№19 2015. 10. 1

NPO法人まついだ森の家

〒379-0211

群馬県安中市松井田町上増田670

TEL/FAX 027-393-0655

ひと夏も過ぎ、

これからのホツとした秋の風情を
森の家で感じてください。



自然の恵みを心のおみやげに。

ランチご利用
安中市地域活動支援センターまついだの皆さん

P 1 表紙 -もくじ-

P 2 こんなお客様が

P 3 いらっしやいました

P 4 里山日記

P 5 こんなイベントありました

P 6.7 車いす散歩 Vol. 2

妙義山周辺～紅葉をもとめて～

P 8.9 おしらせ

P10.11 事務局より



3・11東日本大震災に際し、被災された
福島県の障がい児者とそのご家族、支援者、グループに対し、
特別割引での受け入れを発信しました。

それに応じて来てくださったのが
吾妻悠斗君ファミリーです。



8月8日、3年ぶりにご家族4人(祖母とご両親と)
で宿泊されました。お父さんは今回初めてです。

久しぶりの森の家に悠斗君は大はしゃぎ。「森の
家はどうか?」と聞くと、横に向き、足を上下
に開き思いっきり上半身を前後に大きく動かす動作
で嬉しさを表現してくれました。(そのせいか彼の
腹筋は割れています!!) そんな彼は自閉症です。

地震時のお話を聞くと、お祖母さんが目を潤ませ話をしてくれました。
その時、お祖母さんと彼は一緒に居たのですが、とにかく伊達市のおばあさん宅
へ。彼がパニックにならないようアイスを取りだし、車内で食べさせている間に必要な
物を持ち出しました。これは親元が良いとの判断で福島市の悠斗君の自宅に2
時間かけて送り届け、悠斗君家族はそのまま一晩車内で過ごしました。お祖母さん
宅は幸いにも停電しなかったため、翌日メールで悠斗君ご家族を呼び寄せ、そこ
で2、3日一緒に暮らせた事はとても助かったと、お母さんは振り返っていました。

彼は外が大好きなのですが、震災後の放射能汚染の為、外に出られないスト
レスが溜っていき、南相馬市の障がい者乗馬倶楽部も閉鎖されてショックだったの
ではないか。その時、団体に所属していたのでいろいろ助かった部分が大きく、親の
会からの情報で森の家を知ったとのこと。

夏休み10日間宿泊された間、森の家ではボランティアチームが毎日外出プロ
グラムを組み、全力でお迎えしました。プールに、川遊びに、公園に、温泉に、そして
外食、等々。おかげでストレスが解け、自閉症児を抱えて知らないところでどれほど
過ごせるのか、という不安は吹き飛び、悠斗君は帰りたくないというほどで、ご家
族には忘れられない思い出となられたそうです。
さらにお母さん達の疲れやストレスも解けたと感謝していました。

その当時から2だった彼も、養護学校高等部を卒業。進路担当の先生からは、
「無理でしょうねえ」と言われた作業所(太陽光発電の部品組み立て)で4月から
しっかり働いています。そして初の賞与をもらって、悠斗君は「ボーナスって何?」とお
ばあさんに訊いてきたそうです。働く事やお金の価値を理解しつつある事がとて
も嬉しかったとお祖母さんは喜んで何回もお話されました。

風だまり

6月20・21日、恒例の合宿にいらした
東京の和太鼓チーム「風だまり」。
森の家での合宿は6年目です。細野の心
るさとセンターで一日半の猛練習。仕上げ
は公開コンサートです。年々レベルが上がり、
各地に招かれるほどです。
地域の方々も楽しみにされ、老若男女の
お客様で会場はいっぱいでした。
「まついだ森の家」を愛し「松井田」を愛する
「風だまり」です。



光陽ゴスペルクワイヤ

7月13・14日安中市のゴスペルサークル
「光陽ゴスペルクワイヤ」の皆様にご利用い
ただきました。
素泊まりのご利用で、夕食はメンバーのみ
なさん自慢の手料理でホームパーティ
ーのように楽しんでおられました。
翌日はコンサートに向けて全員で猛練習。
8月22日の伊勢崎「GOSPEL SUMMER
STAGE 2015」に出演されました。

しあわせ太鼓



9月5・6日に「しあわせ太鼓」(前橋
まーやの家が拠点)が10月11日伊勢
崎市境総合文化センターのコンサートに向
けて合宿されました。
丸二日、猛練習は細野ふるさとセンターで
す。他では見られない楽しいグループです。
パフォーマンスを交え、演奏をされています。
太鼓の前で若い子のダンスも披露されます。
そのコンサート「大地とともに」にはモンゴ
ルからの和太鼓奏者をお迎えして行います



里山日記

近年の天候の型とハリこの夏も変な具合であった。猛暑日が一週間も続いたし雹も降ったし突風も有った。ところが一転8月後半には急激に気温が下り雨もよりの20℃台の日が続いた。夏の幕引役のツクツクボウシはどうした事だろ。猛暑の頃には例年になく多くのキリギリスがよく鳴いた。昔はキリギリスの事をコオロギと言ひ逆にコオロギをキリギリスと言ったそう。夜半にはしきりに今のコオロギが鳴いている。ススキももうおかり葉をそろえている。秋の七草のススキやハギ。クズは思ひ浮かぶが問われるとその他が出てこなひ。

身近に有らばあま紅葉狩りというのもあましなけれど妙義の山容に紅葉は絵になるという事であらうし。唱歌

「秋の夕日に照る山もみじ…」の 発祥の地 碓氷湖

や。ちよと足を延ばして草津白根などもなかなか良いですよ。

それと先程の件あと4つはなでしこ、おみなえし、ふじばかま、あさがお、もしくはききょうだそうす。

あさがおが秋の七草に入っているというのはちよと意外でした。



文・絵 石橋



こんなイベントがありました

8月23日
とっておきの音楽祭
in安中フレ企画
ダブルMコンサート♪

群馬県立盲学校OBで、ギター・トーク担当の松ちゃんこと松本秀樹さん(40)とボーカル

・キーボード担当のみゆちゃんこと井口美優さん(22)の2人組ユニット。井口さんはNHKのど自慢大会グランドチャンピオンという経歴の持ち主。松本さんは12種の楽器を演奏し、ソロやバンドで活動しています。お2人とも作詞作曲もされます。単独ライブは初めてというお2人、当日は36名のお客様を前に、自作の「目がみえないということは」から、懐かしいヒット曲まで、まっちゃんのダジャレにみゆちゃんがツッコむなど、軽快なトークをまじえて、楽しいステージを披露してくれました。10月4日(日)に開催される「とっておきの音楽祭」にも、もちろん出演します!

8月21.22.23日 NPO法人ひねもす ひねもす夏学校



スタッフ、子供たち合わせて60名近くが2泊3日で夏のアドベンチャー満喫。森の家で寝袋宿泊。甘いトラップを仕掛けてのカブトムシ捕獲など、遊びきって大満足の笑顔。来年また会おうぜ!

霧積湖ではカヌーで存分に水遊び!!



車いす散歩

車いすでも行ける森の家周辺スポットをご紹介します。

秋です。紅葉の季節です。

今回は森の家から15分ほどで行ける妙義山に行ってきました。

日本三大奇勝のひとつでもある妙義山。♪あ〜きの夕日〜に…♪で知られる童謡「紅葉」のモデルにもなったほど素晴らしい紅葉を見せてくれます。



妙義山パノラマパーク

「ふるさと美術館」



大パノラマの妙義山をバックに最高のロケーション。3階には展望写真室があり、間近に迫る迫力の妙義山や反対側は関東平野の眺望。障害者手帳で無料。



紅葉のひとつ足早く、一面のコスモス畑が広がります。通路も整備されているので車椅子でも安心して散歩できます。

ふれあいプラザ「もみじの湯」。全館バリアフリーで館内は広々。露天風呂からは妙義山が一望できます。ロビーからは妙義、松井田、遠くは高崎までの眺望が広がっています。障害者割引あり。



碓氷湖。歩ける人は一周約20分の遊歩道が整備されています。階段があるので残念ながら車椅子では行けません。トイレは広くてきれいです。



ちょっと足を延ばしてめがね橋。歩ける人は階段を上って橋の上へ。



道の駅「みょうぎ」。妙義神社のすぐ近く。地元の新鮮野菜やお土産の販売。食堂もあり、舞茸ごはん、山菜てんぷらうどんがおすすめ。



妙義神社総門。国指定重要文化財。本殿までは長い階段があるので車椅子では行けませんが、この門はすぐ近くまで車で行けます。ただ地面には小石が散らばっているので自操車椅子だと難しい。介助車椅子で後輪から引っ張れば進めるかもしれません。



みい～んなひかるin安中2015

2015年12月6日(日)
会場/松井田文化会館

今年のテーマは「こども」

発達障害児者の二次障害を防ぎたい。
そのために今やること。
それは、早期発見と早期療育。
お母さんを楽しめること。



みい～んなひかる
イメージキャラクター
ハグちゃん

このような趣旨に賛同して下さる方「この指とまれ♡」
このイベントは「障害があってもなくても、ともに手をつなぎ優しいまちをつくる」という主催者の想いからスタートし、今年で3回目を迎えました。

お問い合わせ ちびちびプロジェクト 090-4819-4524 (深谷)

第3回



ボランティアスタッフが
力を合わせて...

森の家に
西洋風東屋ガゼボができました!



完成～～!!

春は満開の桜を眺める特等席。仲間とワイワイバーベキューにも!ここで何をしようか?楽しみ広がる素敵な空間が誕生です。



まもなく

碓氷峠の日帰り入浴温泉 峠の湯

リニューアルオープン!!

2013年7月の火災から長く休館となっていました、碓氷峠の天然温泉「峠の湯」再開を待ち望む声を受け2015年10月に改修工事を終えて、12月にリニューアルオープン予定です!!



峠の湯完成予想パース

ご好評いただいております森カフェランチ。
今年も残り2カ月となりました。

森Caféランチ

10月1日, 8日, 15日, 22日

11月5日, 12日, 19日, 26日

*11月いっぱい終了です

- *小さな子様連れ: 貸切和室ご用意できます
- *10名以上貸切対応いたします。
- *障害をお持ちの方、ご遠慮なくご相談ください。

お問い合わせ・予約申し込みTEL
090-9307-9226 (堀越)
090-6939-8849 (黒羽)



*写真はイメージです。

毎週木曜は
シェフのおまかせランチ
デザート・ドリンク付き
限定20食1000円

「森の家通信」最新号をお持ちの方50円割引



ずっと来たかったんですけど・・・と言って東京から車いすの息子さんをお連れになったお客様が差し出された封筒は、なんと 2000 年の消印。封筒には森の家通信第 10 号と当時のパンフレット。そして添えられた森の家からの手紙。えーっ???



1996 年に開業した森の家が、NPOになる以前のこと。通信はモノクロ 1 枚、B4 二つ折り。いかにも手作り風。こんな昔のものをとっておいていただいていたなんて！そしてとうとう来てくださったなんて！15 年をタイムスリップ、感無量でした。

当時「マザー&マザー」という「障がい児を育てながら仕事もしていきたいお母さんのネットワーク誌」がありました。志もレベルも高い季刊誌で購読者でした。1999 年に 31 号で終刊した際、会員の方々にご案内を出したのでした。その晩は、大いに語り合ったことは言うまでもありません。こんな出会いがある森の家です。

こんなことがありました・・・障害割引で予約激減!?

バリアフリーペンションまついだ森の家では、障害割引を独自にしています。(大人一泊に付 1,000 円割引)

障害のある方々に対する Welcom の気持ちを表すためと、付添を必要とすることが多い経済負担への配慮から行っています。

先ごろ、その障がい割引を前面に出したプランをじゃらんのトップにだしたら予約が激減したのです。(プランの順位を下げたら戻りました。)

こういう現実ですが、森の家は、今後も、障害だけに特化した宿ではもちろんなく、一般の方々に「気持ちのいい宿だね、また来たいね」と思っただけの宿を目指しています。(それって、当たり前ですが)

バリアフリー(障害物をなくした)というより、ユニバーサルデザイン(初めから障害に配慮すれば、すべての人に優しい。ハードとソフトの両面)の考えです。それが街に、世の中に広がりますように。

障害があってもなくても

コロとカラダの休日を

会費&寄付入金者 お名前 (2015.6.23~2015.9.11)

荒川邦孝・勝美、飯沼由紀子、石井征雄・恵子、上原好枝、榎沢郁子、大崎千都子、大前正巳・あゆみ、岡庭秀雄・潤子、狩野昇、栗田俊昭、児玉葉子、櫻井俊輔、佐藤郁子、佐藤悦子、佐藤和枝、佐藤文子、猿谷節子、島野健太郎、鈴木拓実、瀧澤久美子、長岡静枝、仲島玉恵、鳴嶋誠・眞弓、西村観気、野村彬、萩原千栄子、長谷裕美子、美齊津早由利、平岡亜理子、深津弥恵子、福田晋児・典子、水野雅代、茂木昌子、柳澤裕子、山川賢治・玲子、山口久代・克美、山本美智子、渡辺恒光

今年度もご支援ありがとうございました。

法人・団体会員(年間)

(福)かなな会	(福)ぶらーな	(有)ヒューマン・インテグリティ	まむずはんど
---------	---------	------------------	--------

ホームページ 「まついだ森の家」で検索
<http://www.normanet.ne.jp/^morinoie/>

ブログ 「まついだ森の家里山日記」で検索
<http://matsuidamorinoie.gumablog.net./>

Facebook フォローよろしくおねがいします
<https://www.facebook.com/kimizutsuchi>

メールアドレス ご意見お待ちしております
matsuida-morinoie-2007-npo@amber.plala.or.jp

NPO法人まついだ森の家サポーター会員 いつでも募集中!

年会費 10,000円 3,000円 1,000円

ご支援よろしくお願いたします

お振込み先 ゆうちょ銀行 口座番号 00100-9-631710

会員の皆様にはいつもご支援頂き
感謝しております。

お客様にそっと寄り添うおもてなしができるのは、
安定したバックグラウンドがあってこそ、
夏休みにはたくさんの笑顔に
会うことができました。



引き続きのご支援をお待ちしております。

まついだ森の家スタッフ一同